

京セラコミュニケーションシステム、日本シーサート協議会に加盟 ～自社のCSIRTセキュリティ強化および国内CSIRTへの情報提供 / 支援を推進～

京セラコミュニケーションシステム株式会社（本社：京都市伏見区 代表取締役社長 黒瀬 善仁、以下 KCCS）は、日本シーサート協議会へ加盟いたしましたのでお知らせします。

標的型攻撃をはじめとするサイバー攻撃、従業員による内部犯行など、企業を取り巻くセキュリティリスクは日々増大しています。またサイバー攻撃が複雑・多様化し、情報漏えいなどの被害が深刻化する中、企業単独でのセキュリティ対策は非常に困難になってきています。

当社はこれまで、社内情報システム部門が中心となった情報セキュリティ委員会
でセキュリティ対策と運用を行っていましたが、2015年10月にはより専門性の
高い体制を構築するため、セキュリティ・ネットワークの事業部門も参画する
「KCCS-CSIRT」を設立してリスクに備えています。

さらに今後は日本シーサート協議会での活動を通じ、他 CSIRT との情報共有や
連携を図ることで、当社のセキュリティインシデントを未然に防止する取り組みを
より一層推進していくとともに、組織並びに業界全体のセキュリティレベル向上に
貢献して参ります。

また、CSIRT 活動で蓄積された知見を、当社セキュリティブランド「SecureOWL」
や関連事業にフィードバックすることで、各ソリューションを強化・拡充し、お客
様にご満足していただける総合的・包括的なセキュリティ支援サービスの提供を目
指して参ります。

■日本シーサート協議会 加盟情報

| | |
|-------|---|
| 正式名称 | KYOCERA Communication Systems Computer Security Incident Response Team |
| 略称 | KCCS-CSIRT |
| 所属企業名 | 京セラコミュニケーションシステム株式会社 |
| 加盟日 | 2016年5月25日 |
| URL | http://www.nca.gr.jp/member/kccs-csirt.html |

<CSIRT(シーサート: Computer Security Incident Response Team)について>

セキュリティ事故発生時の対応や事故の予防・セキュリティ品質の向上などを
包括的に行い、組織内の情報セキュリティ問題を専門に扱うチームのことを指し
ます。CSIRT は、日本政府からのセキュリティ対策強化の要請により、多くの企
業において導入や運用が進んでいます。

<日本シーサート協議会について>

セキュリティインシデントが発生した場合に、各 CSIRT 間で連携し、被害を最
小限に食い止める体制作りや、早期警戒情報の共有、広域にわたる脅威度の高い
インシデントに対応する共同演習の実施など、コンピュータセキュリティインシ
デントを未然に防ぐ活動に注力しています。現在の加盟組織は 150 チームです
(2016年6月)。

詳細は、URL：<http://www.nca.gr.jp/index.html> をご覧ください。

<「SecureOWL」について>

2005年のサービス開始以来 6,000 サイト以上の診断実績を誇る Web 脆弱性診断サービス、国内有数の販売実績を誇る Tripwire など、各種セキュリティサービス提供の経験とノウハウを活かし、KCCS のセキュリティブランド「SecureOWL」を展開しています。鋭い眼光と広い視野で、暗闇でも見通すフクロウ（OWL）をブランドキャラクターとして、お客様の環境を監視し、大切な情報を守るためのセキュリティソリューションを提供して参ります。

詳細は、URL：<http://www.kccs.co.jp/ict/security-top/index.html> をご覧ください。

■関連セミナーのご案内

7月13日（水）に「【東京開催】CSIRTへの導入事例公開！未知の脅威への対策実践セミナー ～既存の対策だけではもはや限界！免疫システムの実力はいかに?～」と題したセミナーを開催します。

詳細は、URL：<https://www.kccs.co.jp/events/2016/0713/index.html> をご覧ください。

* 製品名および会社名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

* 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。